

内和外順

こうち 高知市長(高知県) おかざき せいや 岡崎誠也

Seiya Okazaki

マイ
プライベート
タイム

内和外順

平成15年11月、高知市長に就任以来、「内和外順」を座右の銘にしています。

「内は和らぎ外は順なり」と読み、「心が穏やかであれば、その気持ちが人に伝わっていく」という意味です。組織運営では、トップの思いや気持ちが組織に反映されま

す。「あわてず、騒がず、落ち着いて、冷静に判断していきたいですね。」

大学では、どちらかというところ、「ジャズ演奏と山登り」が生活の中心でした。神奈川県の丹沢山系は、大学からも近く、厳しい訓練もできる本格的な山なので、よく登りました。当時50kgの体重でしたが、体重以上の荷物を担いで、日本アルプス表銀座や東北の朝日連峰を縦走したことは、今でもはつきりと覚えています。

当時登った丹沢山系、八ヶ岳、白馬、燕、



「よさこい鳴子踊り」高知市役所隊の先頭で踊る筆者

槍ヶ岳や、東北の山深い朝日連峰など、それぞれ個性豊かで印象深い名山です。

スポーツ観戦も大好きで、自分が少し走ることもあり、駅伝やマラソンを見るのが楽しみです。12月の京都・都大路を駆け抜ける高校駅伝や正月の一大イベントに成長した箱根駅伝、故郷の選手が活躍する都道府県対抗駅伝など、冬には多くの大会が開催されます。

駅伝やマラソンの面白さはスリリングな展開にあり、まるで人生の起伏をみるようなドラマがレースの中に凝縮されています。駅伝は有力選手をそろえたチームが必ず勝つとは限りません。区間によっては有力選手が、まさかの大ブレイクを起こす場合もあり、格下の選手が強豪選手を食ってしまうなど、いつ見てもそのドラマは激しい緊迫感があり、楽しませてくれます。マラソンもさまざまな駆け引きや揺さぶりがあり、誰が落ちていくのか、まさにサバイバルレースで目が離せません。

今年の箱根駅伝は、私の出身校である青山学院大学が、優勝候補の駒澤大学をはじめ有力大学に圧倒的な大差をつけ、信じられないようなレース運びで、見事に優勝しました。今後はすべての大学が青山学院を追い抜いてくることと思いますので、来年も、また目が離せなくなりました。



アーケードも宴席になる「土佐のおおきゃく」

音楽、そして酒縁社会

音楽も大変好きで、大学ではジャズに「はまって」いました。高校時代に友人とバンドを組んだのがきっかけで、その後、スイングジャズの学生ビッグバンドでジャズベースを弾いていました。

音楽の素晴らしいところは、人々に大きな感動を与え、共有できる大切な時間をもたらしてくれるところです。がんを克服された、大学の後輩サザンオールスターズの桑田佳祐さんが、ご本人の強い希望で、東北の被災地に向き、「明日へのマーチ」と題してコンサートを開き、大きな感動を与えてくれています。

高知には、本当に音楽好きな人が多く、折に触れ、さまざまなジャンルの音楽を身近で聴くことができます。

平成14年、民間有志の方々による手弁当



「ラ・ラ・ラ音楽祭」で熱唱する筆者（左から3人目）

さて、皆さんもご存知のとおり、高知では宴席文化が有名です。高知には、全国に誇れる四季折々のフード、特有の食文化があり、カツオ、のれそれ、ドロメ、小夏、フルーツトマトなど、土佐の地酒と併せて旬のおいしいものが数え切れません。土佐人特有の人懐っこさも大きな魅力です。

「酒縁社会」があります。人はどんな形でも、社会や他人とつながっていることで、自分自身を確認することができます。土佐人の土佐人たるゆえンである「酒縁社会」を大切にしながら、人との大切な絆をこれからも発展させていきたいと思えます。

また、今年、坂本龍馬生誕180年の節目の年を迎えるとともに、太平洋を見つめる桂浜の坂本龍馬像が米寿を迎えます。そして、2年に一度、高知市で開催される「全国龍馬ファンの集い」が、今年が高知開催の年になります。全国龍馬社中の橋本会長をはじめとする多くの仲間たちのご尽力により、龍馬ファンクラブは、現在国内でも160クラブ以上あり、海外では11クラブも結成されるなど、龍馬の魅力や志が全国に広がっています。